



認定書

国住指第 1454 号
平成 20 年 9 月 11 日

J F E 建材株式会社
代表取締役社長 谷 一浩 様

国土交通大臣 谷垣 禎



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号並びに同法施行令第 107 条第一号及び第三号（屋根：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
FP030RF-0413
2. 認定をした構造方法等の名称
溶融めっき鋼板製デッキプレート屋根（連続支持）
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名

溶融めっき鋼板製デッキプレート屋根（連続支持）

2. 寸法

屋根の母屋芯相互の間隔は 3,400 mm 以下とする。屋根の母屋方向の幅は、構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする。

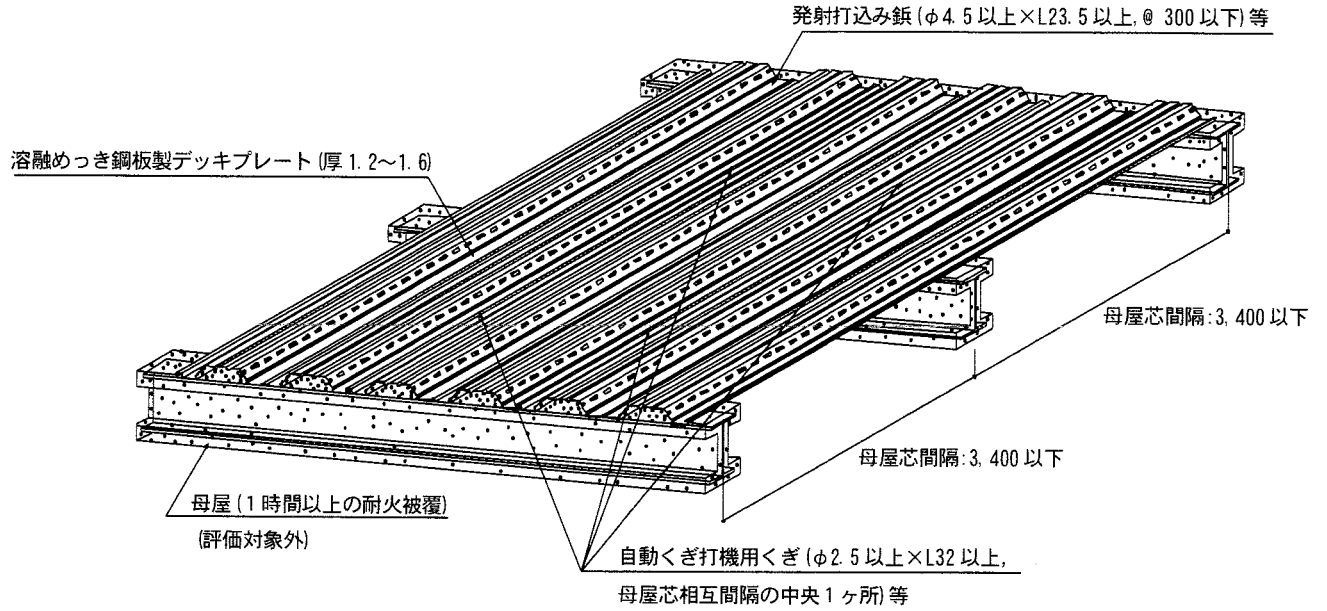
3. 材料構成等

項 目	製 品 仕 様
① 主 構 成 材 料	デッキプレート 規格及び種類 JIS G 3352 SDP2G 鋼板の厚さ (mm) : 1.2 ~ 1.6 鋼板の質量 (kg/mm ²) : 7.85 ± 0.05 めっきの種類及び付着量 種類 ・ 溶融亜鉛めっき ・ 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき ・ 溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき ・ 溶融亜鉛6%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき 付着量 (g/m ²) : 120 以上 山高さ (mm) : 50 ± 1.5 働き幅 (mm) : 600+8, -2 長さ (mm) : 最小 1,000、最大 15,000
	支持方式 連続支持 (2 スパン以上)
② 副 構 成 材 料	デッキプレートと母屋との接合用 発射打込み 釘等 ・ 発射打込み釘 規格 : JIS A 5529、建築材料認定番号 NPIN-9001 又は 9002 寸法 (mm) : φ 4.5 以上 × L23.5 以上 留め付け間隔 (mm) : 300 以下 (デッキプレート幅方向) ・ ドリルねじ 規格 : JIS B 1124 寸法 (mm) : φ 5 以上 × L19 以上 留め付け間隔 (mm) : 300 以下 (デッキプレート幅方向) ・ ドリリングタッピンねじ 規格 : JIS B 1125 寸法 (mm) : φ 5 以上 × L19 以上 留め付け間隔 (mm) : 300 以下 (デッキプレート幅方向) ・ 焼抜き栓溶接 溶接直径 (mm) : 18 以上 溶接間隔 (mm) : 300 以下 (デッキプレート幅方向)

項	目	製 品 仕 様
② 副 構 成 材 料	デッキプレート長辺方向相互の接合用自動くぎ打ち機用くぎ等	<ul style="list-style-type: none"> ・自動くぎ打機用くぎ 規格：JIS A 5508 寸法(mm)：φ 2.5 以上× L32 以上 留め付け位置：母屋芯相互間隔の中央 1 ヲ所 ・ドリルねじ 規格：JIS B 1124 寸法(mm)：φ 4 以上× L12 以上 留め付け位置：母屋芯相互間隔の中央 1 ヲ所 ・ドリリングタッピンねじ 規格：JIS B 1125 寸法(mm)：φ 4 以上× L12 以上 留め付け位置：母屋芯相互間隔の中央 1 ヲ所 ・スポット溶接 溶接長さ(mm)：10 以上 溶接位置：母屋芯相互間隔の中央 1 ヲ所 ・隅肉溶接 溶接長さ(mm)：10 以上 溶接位置：母屋芯相互間隔の中央 1 ヲ所

4 構造説明図
(1) 見取図

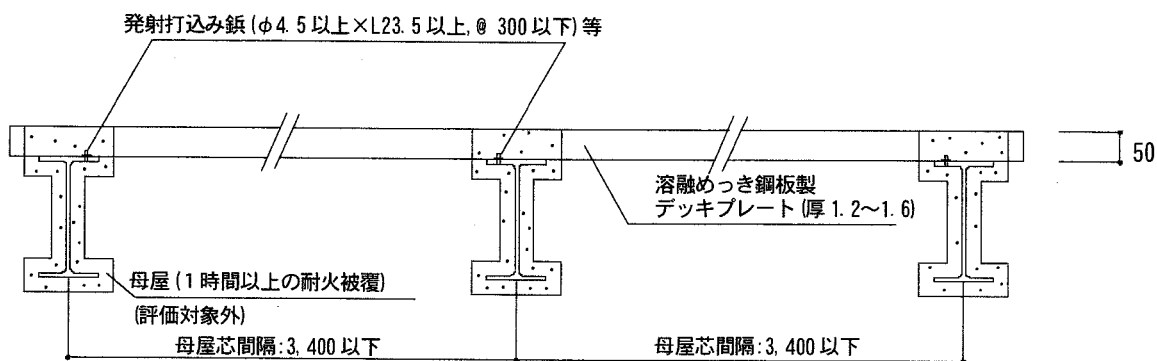
(単位：mm)



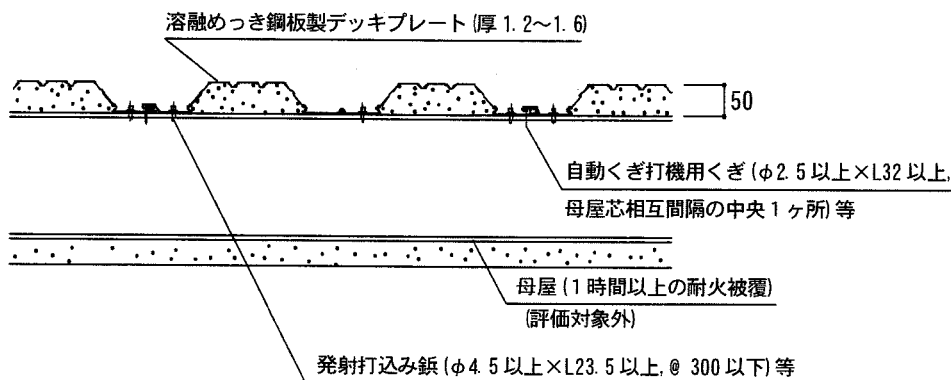
(2) 断面図

(単位：mm)

①長さ方向断面図

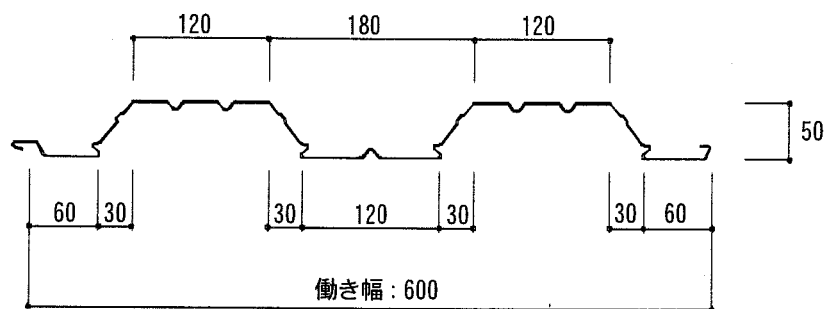


②幅方向断面図



(3) デッキプレートの形状・寸法

(単位：mm)



5. 施工方法

(1) デッキプレートの取付け

デッキプレートを施工する母屋芯相互の間隔が 3,400 mm 以下であることを確認する。デッキプレートを墨出し線に合わせて母屋に配置し、次のいずれかの方法で母屋に接合する。

① 発射打込み鉋による接合

発射打込み鉋(φ 4.5 mm 以上× L23.5 mm 以上)でデッキプレートを母屋に留め付ける。発射打込み鉋の留め付け位置はデッキプレートの谷部とし、留め付け間隔は、幅方向が 300 mm 以下、長さ方向が 600 mm 以下とする。ただし、幅方向の嵌合部は上記発射打込み鉋で母屋に留め付ける。

② ドリルねじ又はドリリングタッピンねじによる接合

ドリルねじ又はドリリングタッピンねじ(φ 5 mm 以上× L19 mm 以上)でデッキプレートを母屋に留め付ける。留め付け位置及び留め付け方法は、前記①と同様とする。

③ 焼抜き栓溶接による接合

焼抜き栓溶接(溶接直径 18 mm 以上)でデッキプレートを母屋に留め付ける。留め付け位置及び留め付け方法は、前記①と同様とする。

(2) デッキプレート長辺方向相互の接合

デッキプレート長辺方向相互は、次のいずれかの方法で接合する。

① 自動くぎ打機用くぎによる接合

自動くぎ打機用くぎ(φ 2.5 mm 以上× L32 mm 以上)を機器に装着し、デッキプレート長辺方向の相互を接合する。接合位置は、母屋芯相互間隔の中央 1 ヲ所とする。

② ドリルねじ又はドリリングタッピンねじによる接合

ドリルねじ又はドリリングタッピンねじ(φ 4 mm 以上× L12 mm 以上)でデッキプレート長辺方向の相互を接合する。接合位置は前記①と同様とする。

③ スポット溶接又は隅肉溶接による接合

スポット溶接又は隅肉溶接(溶接長さ 10 mm 以上)でデッキプレート長辺方向の相互を接合する。接合位置は前記①と同様とする。

(3) 母屋の耐火被覆

母屋に 1 時間以上の耐火被覆を施す。ただし、平成 12 年建設省告示第 1399 号第 4 第三号二の規定に該当する場合には、上記の耐火被覆は必要としない。